

令和7年度 羽曳野市立誉田中学校 学校経営にむけて

学校教育目標 「自主自律」

(1) めざす生徒像

- ① **当事者意識**をもって社会の課題や新たな可能性を発見する生徒
- ② 自らの行動で自分や自分の周りをより良い方向へ変えられるという **自己効力感**をもつ生徒
- ③ 変化することの **意味や意義**を見出し、価値づけてできる生徒
- ④ 目標を達成するために **責任を持って行動**する生徒

(2) めざす学校像

ウェルビーイングな環境を整えた、学び続ける人が集う場所

学校経営方針

(1) 基本的な考え方

- ① 学校は成長をする場である
- ② 学校はチャレンジをする場である
- ③ 学校は人を見守る場である

(2) 具体的な取り組み

- ① “誰か”または“何か”のために行動する人を育てていくという視点を持って行動する。そのことで、他者に認められ、自己有用感が生まれ、人は能力を発揮することができる。幸福感・心理的安全性が増す。
- ② 知的好奇心を持ち続け、**知的好奇心を揺り動かす場面をつくる**。人は元来、学びたいと思う生物。その気持ちを失わない環境をつくり続ける。
- ③ 挑戦を可能にする心理的に安全な空間をつくる。失敗をネガティブにとらえず、再び挑戦しようと思うには**まわりのあたたかい応援**が必要。
- ④ 「自分ができる」という自己効力感が生まれる環境をつくる。**目標とする行動を達成する、成功者の体験を見聞きする、結果ではなく過程の良さを認める**ことで人は「自分ができる」と思うことができる。
- ⑤ **人の親切や人の一生懸命を応援する**。人の良いところに着目し、認めることで、人権を大切にした補い合える集団をつくることができる。
- ⑥ **最後の最後まで確認をする**。「けがはしていないだろうか?」「きちんと理解できているだろうか?」「間違いはないだろうか?」という気持ちで最後まで確認をすることで、取り返しのつかないミスをなくすることができる。